

パノラマ関係町民懇談会報告

第1回 平成22年 2月9日(水)夜7時より

場所 清泉荘 参加者44名

質問事項

- ・ドイツすずらんについて
 - ・なぜ自生すずらんではなく、外来のドイツすずらんを植えるのか。
 - ・山頂公園化するにあたり、広い範囲を管理するのは金銭的にも手間もかかり大変ではないか。草取りなど人件費もかかるのに、わざわざ大変なことをやるのか。プロジェクトメンバーにお願いしている。案を信用している
- ・パノラマ・高原の経営者について
 - ・パノラマも高原も、会社が大きくなり不況の影響を受けている。これを乗り切るためには、経営者がしっかりしなくてはいけない。数年、一般企業に出向するなど人材育成(人づくり)を早い段階で行っては。今の時代、アイデアが勝負である。体制を整えば手をつけたい 人員態勢など 他の案はない。これがベスト
- ・計画の信頼性・基金の使い道について
 - ・借金の返済は平成74年で終了予定だが、銀行が大丈夫だからといって、本当に大丈夫なのか。74年までの間、天候や温暖化などの条件を考慮した計画の提示を。
 - ・今までのどれだけ植栽し、どれだけ自生したのか理解しているのか。また、今までの植栽の失敗の原因を次回の中で説明してほしい。
 - ・パノラマについての説明会を開いているが、これだけの資金があれば他に福祉や子育て支援などで町民の生活を良くする方に使ってほしい。温暖化、植栽成果は別に回答するプロジェクトに総括をお願いしたい。
- ・P20の投資計画(入込32,500人)は本当に来るのか。
- ・中学校の統合や小学校の存続問題があるが、小学校のための計画はあるのか。お金の使い道は?
- ・近隣には人口が増えている市町村もあるのに、富士見ではそれを勉強しようとしてい

ないが、人口の減少を食い止める施策はあるのか。どう考えているのか。

- ・企業誘致を公約に掲げているが、進んでいるのか。外国企業を誘致できないか。
- ・今までのパノラマの再建計画の失敗の原因を追及しないまま、一方的に「これが最善だ」といわれると、説明会の意味がない。せっかく町民が集まる場なので、みんなの意見を集約しては。
- ・マイカー規制について、通年行くとゴンドラに人が流れる計画だが、「マイカーがダメであれば行かない」という人もいるのでは。みんながゴンドラを使う前提での計画はおかしい。
- ・観光圏について、富士見は勝手な意見を持っている。

・植栽について

- ・公園化については、範囲が広いので大々的にやれば雇用につながるのでは。
- ・関西圏の人も入笠山を良く知っている。

・外国人誘致の時代

- ・この計画の中にはないが、インターネットの活用や外国ご表示の整備を。外国人誘致を

第2回 平成22年 2月13日(土)午後7時より

場所 コミュニティ・プラザ 参加者33名

・過去何度も失敗をしているが、責任はどう取るのか。今回の計画は十年間の長い期間であるが、失敗したらどうするのか。法的な取り組みはなぜできないのか。民事再生の検討は？

過去のものについては、個人に責任を取らせるつもりはない。

- ・富士見レンタルの話はどうなったか。
- ・植栽について、今までの植栽分はほとんど根付かなかった。手入れがされていない。
- ・里親事業に携わったが、鹿の食害が酷い。何か対策を。

・公園化プロジェクトのメンバーに入っているが、会議の中では計画の策定はまだされていない。資料の中で「策定された」という言葉を使うのはやめてほしい。会議の中では、土を整えてから植栽を行うよう発言した。お金をかけずに、種をまくなどして時間をかけて自生させたいと考えている。野焼きをしても、芽が死んでいるので再生しない。

・今までの植栽の総括をしていない。今までの経過と反省（どれだけ根付いたか）を提示してほしい。

・基金に余裕があるのはなぜか。また、余裕があるならなぜ10億円以上返済に充ててもいいのでは。

- ・パノラマが選ばれる理由付けが必要。
- ・町民のパノラマへ対する意識を高め、価値観を共有するために、山野草公園を作るために町民がセールスマンになるべき。花を植える際に割り当てを決め、責任を持って植栽をしてはどうか。植栽の予定本数が多すぎないか。
- ・伊那市と協力して高遠の桜の時期に、富士見にも観光客を呼べるようにできないか。

・ハード部分の整備は計画されているが、ソフト的なものも必要。

・山野草公園化について、他にも同じような公園をやっているのにあえて富士見に来るのか「行きたい！」と思える場所を作る必要がある。外来種を植えるのはどうか。この件については町民から意見を集め、1年間位時間をかけて議論することが必要。

・富士見は夏場に来て也十分楽しめる。しかし、食が弱くおいしいものがない。夏場に

は高原野菜があるので、農業と結びつけた観光を考えてほしい。

- ・ 鹿肉料理を検討してほしい。
- ・ 大きい施設の設備投資のメンテナンス料が抜けている。
- ・ 土地の賃借料の料金が違っている。
- ・ 通年のマイカー規制は、高遠との連携はどうなっているのか。交通量が減ると、林道の整備が手薄になるのでは。(落石などの発見が遅れる)
- ・ 関東方面への誘客宣伝は行っていると思うが、最近では中京方面から来る人も増えているが対応はどう考えているか。
- ・ さん(松虫)の話の話を聞くと本当にこの話がプロジェクト会議で議論されたのか疑問に感じる。プロジェクトのリーダーは有識者の中から選出してはどうか。
- ・ この計画を進めてもいいが、10年後その計画通り行くように十分議論し努力してほしい。
- ・ 二度も失敗しているので「絶対」という言葉は使わないでほしい。
- ・ 過去の計画者に失敗の責任はないということはない。みんなの前で頭を下げて責任を取ってほしい。

第3回 平成22年 2月14日(日) 午前9時30分より

場所 コミュニティ・プラザ 参加者37名

- ・山野草公園について、それだけでは子ども連れの家族を集客するには不十分だと思う。
複合遊具の設置の検討も考えたが、流行があるため断念した。年配の方を第1ターゲットに考えたい。
- ・アトラクションを作るだけでなく、ゆっくり座ったり遊べる広場を作ってはどうか。
- ・三菱マテリアル用地の利用についても合わせて考えてほしい。
町民の同意がなければ進められない。1度に色々できないので、まずはパノラマのことに取り組んでいきたい。
- ・P36に年未年始の利用状況があるが、パノラマは絶対数が少ないのでジリ貧になるのでは。
スキー場はコースや規模が色々ある。小さくても光る企業もあるので規模では判断できない。いかに健全な経営ができるか。
- ・基金を返済に充てるとなっているが、基金はこの先増えるのか、減るのか。
24億円は今すぐ使えるお金。基金の量は住民サービスとの兼ね合いがあるので基金が多ければいいというものではない。今後税収が落ち込むことも考えられるが今のままでやろうと考えている。10億円は維持していきたいと考えている。
- ・10億円の使い道について、他の返済に充てないのか。(上下水関係など)水道代が高い。
繰り上げ返済で効果があるなら、水道関係についても返済してほしい。
上下水の関係については、着々と返済がされている。町債の返済には国の許可が必要。
繰り上げ返済を国が簡単に許可することは難しい。人口が減ると減った分だけ返済額が増えてしまうが、これについてはあまり心配はいらない。富士見は山谷あるため、一部ポンプで汲み上げているため、他市町村に比べて水道料金が高くなっている。
- ・霧ヶ峰では自然に手を入れていない。そういうところに観光客は足を向ける。植栽をするなら元々自生しているものを植えるのが原則。本当にドイツスズランでいいのか。
富士見に自生しているもので統一した方がいいのでは。
自生しているものがベストだが、今までの経過をみると難しい。次の会議には観光客がどう感激するかという視点で話し合ってもらいたいと思う。

・今まで2回失敗した内容が不明。水ぶくれ体質を改善してほしい。町の財政規模の中で10億円はパノラマに偏りすぎではないか。みんなが納得できるものを練ってから実行してはどうか。

H14年にはほとんど破綻し3年間赤字だった。H16~5年間1億円前後で黒字が続いている。スキー人口は13~14万人を続けていける。10億円の使い道については、借金をさっさと返す方がいい。借金は返して当然のもの。

・経営は改善されたのか。パノラマはそんなに関わりのない町民もいるため、生活に本当に必要な部分か。2度もうまくいっていない不信感を払拭してほしい。

公社の職員は危機意識をもって、頑張っけてやっけておりスリム化している。富士見町がどうやって生き残っていくのかを考えると、農業・観光にかかっている。富士見に住んでいる魅力がないので、所得・生活保障がないと人口が減ってしまう。観光・農業・地場産しか富士見にはない。成功の確率がなければやらない。何もしなければ、富士見は衰退してしまう。

第4回 平成22年 2月15日(月)夜7時より

場所 落合小学校 参加者3名

- ・数字は都合よく変わるもの。数字の推移が計画通りになっているか確認してほしい。
来場者数、売上等、数字は全て把握している。今年も対前ではいい数字。計画も確度の高いものなので、自信を持っている。
- ・過去の失敗を見ると、パノラマに当事者能力のある人がいない。責任を持つ人がいないと成功しない。以前のような経営状況が再発しないか、経営者の責任意識が心配。
社員が頑張るだけでなく、トップダウン・ボトムアップ両面で見えていくべき。
今は責任問題よりも、計画立案の段階。しばらくは現在の体制でいき、ひと段落してから考えていきたい。
現在のパノラマは、理事長が監査と経営を兼ねている状態。本来、責任問題は社長が持つもの。
- ・誘客プランを具体的に示してほしい。
パノラマ来場者は95%が首都圏から。首都圏に向けたPRをすすめている。日帰りのツアーバスは、東急を通して強力的にPRしている。
また、Yahooのトップページにバナーを貼っているなど、HPでのPRを工夫している。
- ・富士見町のHPでの観光アピールが弱い。
ご指摘の通り。H22年に改めたい。6月までにベースを作っていくたい。
- ・外国人への対応は。
現状、パノラマにも多くの外国人が来ている。個人客も多い。今後、パノラマや東急と相談しながら、外国人誘致もすすめていきたい。
- ・食事がおいしくない。特産品も含めて、全国に発信できるメニュー作りを。
職員が周辺スキー場との比較調査をしたが、パノラマは決して悪くない。ただ、ネットでの評価との差があるのは事実。
今シーズンから始めた「ルバースソフト」は大好評。ソフトクリームの売り上げは、昨年比の2.5倍。

- ・赤字から黒字に転換した理由や、利用者数の推移はどうなっているのか。

H14 15万人

H17年からは13~14万人の間で推移している。売上げは横ばいの中で黒字に転換したのは、経費節減(3億円)や従業員の危機意識が効率UPに繋がったため。社員はよくやっている。

今回の計画では13万人をキープし、夏の利用者増を見込んでいる。

- ・年度ごとに計画や実績の分析をし、結果次第では計画途中でも方針を再構築する必要があると思う。情報公開も。

第5回 平成22年 2月16日(火)夜7時より

場所 本郷小学校 参加者 21名

- ・銀行からの借入はどこからか。また、年利1.5%は適正か。下げる方策もあるのでは。
借入は、八十二銀行、諏訪信用金庫、JA信州諏訪から15億円を3等分
着々と借金を返し、黒字を出している現状では、年利を下げる交渉は難しい。今までの交渉の焦点は町の連帯保証分を外すこと。これを勝ち取ることができた。
- ・パノラマはインターから近い割に、入込が少ないように感じる。若年層を気軽に連れてくるようなツアーバス等、お客さんを呼び込むような策を考えているのか。
東急とタイアップし、営業の職員がツアーバスを多く引き込んでいる。
インターネットでのPRではYahooを利用しており、費用対効果について検討を重ねている。
外国人誘致もこれからのテーマ。
- ・パノラマの資産価値はどれくらいか。
最近売りに出していないので、新たな数字は分からない。数年前の相場は2~3億円だった。
産業課長：新聞には5億円とあった。
- ・山野草公園の投資計画は可能なものか。
現在、ゴンドラを使わない入笠山の観光客は10万人。通年のマイカー規制を実施すれば、少なくとも3万人はゴンドラを利用するようになる。現実的な数字。
- ・既にある資産の修繕にも投資は必要になるのでは。
ゴンドラなどの固定資産は28億円で町が買い取っている。大きな修繕はあと30年必要ないと専門家から言われている。年間の修繕費は5000万円。
- ・どの程度の集客キャパを考えているのか。
MAX30万人来たことがあるが、1時間待ちで数回滑れる程度で、満足度は低かったと思う。近年は13万人程度を推移しているが、黒字になっているため、現状維持は最

低限の集客人数と考えている。もちろんこれ以上の営業努力は必要。

- ・ 10 年後、思い描いているイメージはどんなものか。

これからの若い人たちにアイデアを出してほしい。

かつて山野草で賑わっていた入笠山を取り戻し、山野草公園とスキー場がパノラマの両輪となることが 3 年後、5 年後のイメージしている姿。

- ・ 10 億円使った基金は、今後どうなるのか。

財務課長：それぞれの事業で、決算時に余った予算が出てくる。およそ 2 億円。繰越金として半分は翌年の予算に、半分はいざという時のための基金として積み立てる。

町長：10 年もあれば元に戻る。

- ・ 税金は平等に使われるべき。入笠山方面に偏らず、八ヶ岳と入笠山でバランス良く町が発展するように考えて欲しい。

皆さんの意見を聞きながら、八ヶ岳、入笠山の両輪でバランス良く発展できるように考えていきたい。

第6回 平成22年2月17日(水) 夜7時より

場所 西山保育園 参加者57名

- ・P10 基金の10億をパノラマに充てることについて、町の起債は金利が高いのでその返済に充てるのが先ではないか。
町の起債は安定しているため、金融団に拒否される。
- ・政府債、縁故債はどうか。
国の許可が下りないと返済できない。
- ・P13 植栽には、ドイツスズランではなく入笠にある花でなければ面白くない。
プロジェクト会議で、ゲレンデには入笠の花は咲かないと話があった。
- ・P20 この投資計画には、減価償却や老朽化による再投資などを入れて練り直しては。
20年以上の耐用年数はあると判断している。年5000万円ほどの修繕費でやっていける。
- ・P29 実質的には赤字ではないか。2.3億を免除しているため黒字なのでは。
会計法上の黒字が出ていることは確か。今までは、出なかった。

- ・維持管理費はどれ位かかるのか。
現在、維持管理は開発公社でと考えているため、2名程の雇用を考えている。かかるのは人件費。
- ・利益率17~18%で3万人と考えると、一人あたり1万円使うこととなる。山野草でそんなにお金を使ってくれるのか。
ゴンドラ・レストランなどは固定費なので、乗れば乗るほど利益が上がる。コストアップはなく、利益率も上がる。

- ・P8 お客は、自然の状態(花など)をみて綺麗だと思わないか。道を作ったり、植栽をしたドイツスズランを見て綺麗だと感じるのか。確実に人は来るのか。
- ・ゲレンデにはドイツすずらんしか育たないと言ったが、プロジェクト会議の中でそう発言があったのか。やしが峰や霧ヶ峰を見たところそうは思わない。春や夏を待って、各方面へ視察をしてから慎重に進めてもいいのでは。トイレや道の整備の計画はあるのか。
ゲレンデは、今まで色々やってきたが雑草になってしまう。霧ヶ峰などと違うのは、ゲレンデか自然かというところ。生命力のある花でないと咲かない。富士見=スズランと言うことを大事にしたい。全体で15万本必要だが、今年は4万本の植栽を考えて

いる。現段階では有力案がスズランということ。

- ・ゲレンデだからスズランというのはおかしい。やしが峰スキー場には色々な花が咲く。まずは登山道整備をし、花が咲くところに人が立ち入らないようにしては。サクラソウやカタクリは県で保全の対象となっている。苗はどうやって入手するのか。計画はまだ練っている状態。有識者がみんな納得する計画にするつもり。
- ・野焼きについて
会議では全員が大丈夫だと言ったわけではないが、半分以上の人がやってみる価値はあると言った。霧ヶ峰でも、ニッコウキスゲのために野焼きをしている。
- ・10億円の返済についてはいいが、グリーンシーズンの計画について他の公園の経過と売り上げを資料に入れてはどうか。
住民懇談会では白馬五竜話をしたが、町民から反対があった。入笠の生態を戻す方が長い目で見て良いと意見があった。「五竜は人口の植木箱」という声もある。入笠らしい公園にしたい。
- ・アツモリ草でニチレイに200万円の投資をしているが、今後をどう考えているか。別途話をする。
- ・ボランティアで植栽しても消える部分もある。それも踏まえての予算なのか。どんな構想で公園を考えているのか。
今までの総括について、4年間で800万円投資してきた。残っている数は分からない。クリンソウは綺麗に残っている。
- ・グリーンシーズンの誘客について、どういう客層をターゲットにしていくのか。ニーズは掴んでいるのか。どういう戦略なのか。
八ヶ岳の眺望と山野草に価値がある。月ごとに見せる花をかえる。ビジネスとして考えている。
- ・ゴンドラ利用で利益増をということだが、ゴンドラ山頂に魅力のあるものがなければ利用してもらえない。計画を立てる時点で誘客を始めなければいけない。今のお客は目的意識を持ってくるので、ターゲットを絞ることが大事。ソフト面に力が入っていない。管理は。ボランティアの組織化などの検討は。道の駅の活用など、観光に結び付けては。
今回の維持管理は責任を持って開発公社にやってもらおうと考えている。PRについてはまだ考えていないが、東急に年間通じてお手伝いしてもらっている。HPなども活用していきたい。

- ・登山+ の付加価値をつけなければ、人は来ないのでは。今お金を使ってくれるのは、中高年なので、そこをターゲットにしては。
- ・3世代で楽しめるものを考えてはどうか。(孫 スクール 親 スキーor スノボ 祖父(母) 温泉巡り 昼食はみんななどで)
- ・地権者は財産区なので、町民に説明をする前に財産区に話をるのが先ではないか。